

発行元 自由民主党大阪府第八選挙区支部
〒561-0881 大阪府豊中市中桜塚 3-10-2-201
Tel 06-6846-3366 fax 06-6846-3390 Mail kourai.jimin@gmail.com

衆議院



大阪府第八選挙区支部長(豊中市・池田市)

こうらい

啓一郎 特集

高麗(こうらい)啓一郎。昭和 55 年 7 月 9 日 大阪府豊中市生まれ。豊中市立桜塚小学校、豊中市立第三中学校、大阪府立豊中高等学校、早稲田大学政治経済学部 卒業。三井住友海上火災保険株式会社を経て、衆議院議員公設秘書。練馬区議会議員一期。豊中市議会議員二期目の令和 3 年 10 月、衆議院選挙に出馬。令和 6 年 10 月、衆議院選挙において 66,582 票いただくも落選。(一社)豊中青年会議所シニアクラブ所属、豊中市消防団桜塚分団所属。

暮らしのお困り事、ご意見など、お気軽にお聞かせください。月に 2 回程度、活動報告等を送信させていただきます！

LINE 友達に
なってください♪



ご挨拶

10月27日執行の衆議院選挙において66,582票を頂くも、議席を得ることはできませんでした。自民党に対する逆風の中でよく頑張ったという声も頂きますが、期待に応えることができなかったことを申し訳なく思っています。

選挙の終わった翌日から、朝の駅立ちも毎日継続しています。議席を得ることはできなかったものの、「日本の為に働かせていただきたい」という気持ちは僅かも衰えず、益々活発に活動をさせていただいています。

選挙が終わってから皆さまとお話をさせていただきますと、選挙期間中に政治と金の問題以外の議論が少なかったように感じたと聞きます。政治と金の問題は重要であり、再発防止に向けて政治資金規正法は更に改善すべきだと思います。しかし、注目すべき論点がその点にほぼ集中してしまっていたのであれば、有権者の皆さまからは政策論争無

き選挙に見えていたのではないかと懸念します。私たちは責任与党として、一刻も早くこの問題にケジメをつけて、日本が直面する本質的な課題に議論が進むようにしなければなりません。

私自身も活動中に、多くの方々から政治と金に関するご批判を頂いてきました。ご批判を頂いた方々とよく話をしてみると、「政権担当能力が有るのは自民党であり、政権交代で日本が良くなるとは思っていない。しかし、気持ちとして許しがたい。」という方が少なくありませんでした。その様な方々は政権交代を望んでいるのではなく、自民党が反省して変わって欲しいと願っていらっしゃるのだと思います。

私はその様な声に真摯に向き合い、豊中・池田から、自民党を、日本を、変えていく代表となっていけるように、今後も努力を重ねていきたいと考えています。



『年収の壁』とは？！

～ 現役世代の高負担を解消すべき ～

「手取りを増やす」というキャッチフレーズで大きく得票を伸ばした政党があります。年収の壁を取り払うことがその最適解かはさておき、高すぎる税や保険料をどうにかして欲しいという声に自民党も向き合うべきだと私は考えます。

現在は年間収入が103万円を超えると所得税が掛かります。この103万円の壁を178万円に引き上げるべきという、ある政党から与党への要望に注目が集まりました。

103万円を超え課税所得195万円までは、103万円を超えた金額にだけ5%の所得税が掛かります。つまり105万円の収入の場合、 $(105万円 - 103万円) \times 5\% = 1,000$ 円の税金が掛かり、手取りは1,049,000円となります。

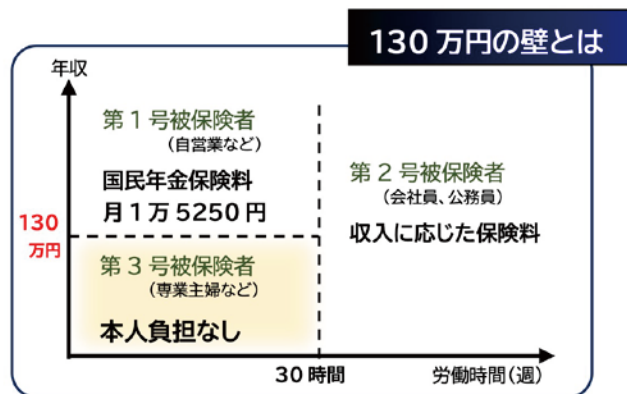
現在の制度でも、103万円を超えた時点ではかえって手取りが減ってしまうということはありませんが、103万円を超えないように調整されている方が多い（独立行政法人経済産業研究所 HP 参照）ことを見ると、『103万円を超えると損』という誤解が蔓延しているのかもしれません。

この103万円の壁を178万円に引き上げる議論にばかり注目が集まっていますが、途中で106万円、130万円の壁があります。企業規模によって106万

円または130万円を超えると社会保険料を払うこととなり、本当に手取りが減るというケースが生じます。むしろこちらの方が真の問題だとも言え、同時に議論すべきだと私は考えます。

年収の壁の議論は、働き控えを解消するという効果も有ると考えます。しかし、非常に複雑であり、シンプルな減税等によって高負担の解消を図るべきなのかもしれません。いずれにしても、重すぎる保険料と税金を軽くする努力が政治には必要ですし、特に働く現役世代の負担を軽くすることは私も政治家として進めて参りたいと考えます。

※勤労学生控除の議論も有りますが、学生の労働時間が増えることを是とするのかは別途考える必要があります。



LINEで私と繋がりませんか？

こうらい啓一郎が目指す「強く豊かな国」づくり。
あなたも一緒に参加しませんか!!



「友達追加」から
「QRコード」を選択



このQRを読み込む



友達に追加!